

# 野球部の県外遠征

## 光る東京支会の活動

副会長 芝間教男

佐藤校長より、野球部を東京に連れて行って県外の野球部と練習試合をさせた。と同窓会に話が合ったのは、赴任されてすぐの29年度同窓会総会の時の挨拶時である。

皆、なんと大胆な事を考える校長が赴任してきたものだと一同に驚き、ある意味夢の話ではとも思ったものである。



母校野球部を応援する同窓会・東京支会・保護者の皆さん



あいさつに整列する野球部

それが校長先生始め、野球部監督らの努力により30年6月にいよいよ実現する運びとなった。

その応援に東京支会の皆さんも乗って下さった。

試合当日に合わせ、東京支会総会も行い事とし、関東一円に在住する蓼科高校OBの方々が多く応援に駆けつけて下さった。

その日の為に御尽力下さった東京支会役員の皆さん、また母校を想い応援において下さり、大きな声で応援して下さい

った東京支会の皆さんには本当に感謝を申し上げます。試合は驚宮高校と荒川工業高校と対戦を行った。蓼科高校は前半守備もしっかり練習の成果を発揮し、トントンの試合で進んで行ったが、さすがに後半引き離され、体格と打撃力の差を見せつけられ、おしくも敗戦の結果となった。



しかし、県外の遠征であっても臆することなく、堂々と戦った選手諸君らは、きっと大きな成果を感じて帰還したものと、晴れ晴れとした姿に見て取れた。これが、夏の大会で5年ぶりとなる初戦突破につながったものと思う。

その後、巣鴨スポーツセンター内レストランパルテールにて第56回蓼科高校東京支会総会・懇親会が開催された

が、野球応援の熱気がまだ醒めやらぬ中、支会の活動報告・収支報告・役員選任などの議案が進んだ。

東京同窓会連合における蓼科高校の活躍は特にすごい。宮下忠爾支会会長が同総連の財務副事務局長を務めるのを始め、各行事には蓼科高校同窓会員が多く参加し「蓼科高校ここにあり」の光を放って



東京支会総会の会場にて

いる(宮下会長談)と主導的に活躍をされている事が報告された。

今回の東京支会総会では、色々な意味で大きな収穫と前進があった。それは現役高生生の活躍を共に目の当たりにし、私たちは蓼科高校の名の下、一つになり得たからに他ならない。

蓼科高校創立120周年を迎えるにあたって、多くの同窓会員の皆さんにも母校に想いを寄せて頂き、節目として祝うと共に、更に伝統を築きあげてゆく事が出来るよう、一層のご支援ご協力を下さる事をお願いしたい。

### 【編集後記】

前号発行以降の蓼高の活躍はたくさんあり、今回も全てを載せることができませんでした。また、締め切り間際の大任表彰は一面以降の再編成になり、忙しくも嬉しくもありました。

### 【事務局(連絡先)】

電話 : 0267-56-1015  
FAX : 0267-51-3006

E-mail: [tateshina\\_hs@pref.nagano.lg.jp](mailto:tateshina_hs@pref.nagano.lg.jp)